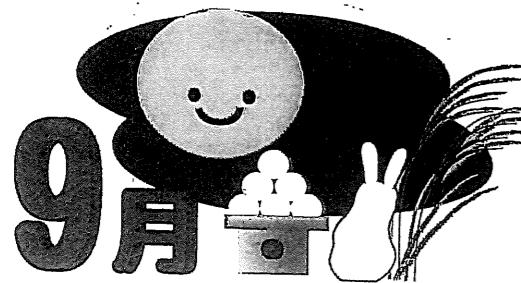


月刊 利根日石新聞

2009年11月1日創刊 令和2年9月号



新型コロナウイルス感染症に多くの人が収入が減ってまつたり仕事がなくなってしまった。陽性者の中重症者やててしまつた人がたくさんコロナが始まりうなんとかして思つて、薬やワクチンが早く出来る事を祈るだけです。全国で一日何百人と倒れています。8月のお金は奥家には帰らずお盆様をお迎えに行き来も出来ず天国でみんながこんな大変な出来事があればみんなで自分たちをお墓へ来る事もできないよだと言つてゐると思います。小さい子供たちが家の中でお祭りニシニや、金魚すくいやトトお家での花火をしているテレビで放送していました。町中の子は仕方ないですよ。沼田市内はみなみ町の川、利根町の川、川場村の川やたくさん的人がいたい場所を見つけて出かけて来たと話をしていました。温泉もアールも海にも行く事が出来ないから近くで遊べる所を見つければ、家族ででかけているようです。私は暑い中ひたすらなくなった洋服や子供のあめちゃんの時の洋服やパジャマ、スキーウェアなどゴミ袋へ積めていたらそれを見ていた近所のおじさんや自分で少しづつ手分けをしていると言うのです。自分の物は整理しなくてはと誰かが思う事ですね。家にいる今だから出来た事ですね。

ある本を読んでパートVIII 「父さんからの教え」

Aさんはお彼岸のため、久しぶりに家族で帰省しました。実家からほど近い所にあるお墓では、十数年前に亡くなった父が眠っています。墓地に致着すると、墓石が雨風で汚れ、雑草が生えていました。
（年老いた母では定期的な管理が難いのかね…）。どのようにことを思ひながら、Aさんは掃除を始めた。しばらくすると、父の思い出が蘇ってきたのです。

小学生のAさんが、父に連れられてお墓参りをした時のことです。父が尼先祖様が居る場所だからこそ、心にしようと、掃除の仕方を教えてくれました。

雑草は手一本抜くこと、おみそかは蒂でしがり掃くこと、墓石は雑巾で磨き上げることなどを、身振り手振りで教わりました。（これにていゆるにするもののか）と当時のAさんは思ひましたが、大人になつた今、父と同じことを自分の子供達に言つてはいることに気がついたのです。

Aさんは「あじけんが眠る場所だからきれいにしてやね」と言うと、子供達は一生懸命、掃除をしました。その姿を微笑ましく思ったAさんです。◆良い慣習を後世に伝えていきましょう。

私の父も尼先祖様を大事にする人なので、掃除を行っていたのではないかと勝手に想像しています。私も同じように必ずおみそかをしています。
今月9月19日お彼岸入りです。掃除について改めて尼先祖様がいつ来る時間も大切にします。



ストップコロナ!!

7月に、利根沼田地域での最初の市中感染が確認されて以来、7月中に2名、8月には4名の方の感染が確認されています。幸い、いずれの方々も容態は安定しているようですが、かなり身近なところまで新型コロナウイルスが近付いて来ています。これからも暫く続きそうな、「Withコロナ」の社会でも販売業務を続けてゆく為に、利根日石では以下の点を実施しています。

全社共通の取り組みとして

- ・全スタッフのマスク着用
- ・全スタッフの検温
- ・小まめな手洗い、手指消毒を実施しています。

さらに、上記に加え、

ENEOSサービスステーションの店舗販売では

- ・サービスルーム内の定期的な換気
- ・サービスルーム内の定期的な消毒
- ・サービスルーム内のソーシャルディスタンスの確保（テーブルの配置など）
- ・サービスの一時的な制限（ゴミや灰皿等は原則、お預りしていません）

ホームエネルギー課の配達や、ベランダーの訪問サービス業務では

- ・ご訪問前後の手指消毒
- ・伝票の簡略化（ご了承頂けるお客様にはサインを省略させて頂き、ポストに投函させて頂いています）

ミニストップでの店舗販売業務では

- ・店舗内の定期的な換気
- ・レジ前でのソーシャルディスタンスの確保
- ・レジの透明シートの設置
- ・イートインスペースの定期的な消毒
- ・出入口での消毒スプレーの設置

等を実施しています。

日頃からの備えが大切なのは、コロナも、自然災害も一緒。万が一に備えて、これからも不断の取り組みを続けて参ります。

今年も「満タン+灯油1缶」運動始まりました。防災週間に合わせ、全国石油連盟等主催のキャンペーングが始めました。
①車のガソリンは半分減らしたら満タンに
②暖房灯油はいつもより1缶多く備えて、
いざ!の時を考え、平時からの備えを考えましょう。

